

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191200072		
法人名	九州メディカル・サービス株式会社		
事業所名	グループホーム安心 なかばる		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀190番地3		
自己評価作成日	平成30年2月11日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成30年2月28日	外部評価確定日	平成30年4月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型サービス事業所として「地域の方と共に暮らす支援」の実施を心がけている。運営推進会議には毎回区長や民生委員の参加があり地域の情報や活動状況の検討が行われている。事業所独自の自立支援活動の実施にも職員全員で取り組み、利用者一人一人の残存機能の活用しながら生きがいを持って過ごすことができるよう支援を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

グループホーム安心なかばるは、中原駅に近く、近隣に郵便局、銀行、学校などの公共機関やクリニック、商店等が立ち並び地域密着型としての生活に適した環境といえる。利用者が図書館を利用するなどその利便性を生かした支援がなされている。ホームが力を入れている点の第一に「地域の方と共に暮らす」支援があげられる。地域からの利用者が多くなったことで地域の知人、友人の訪問が増え気軽に立ち寄ってもらいホームが開放的になった。第二には「自立支援」があげられる。利用者の持てる力を生かしながらイキイキとした生活に繋げる支援を行っている。また、ホームの母体は医療施設である。協力病院からは往診を受け、訪問看護からも毎日来所してもらおう等、緊急時にも即対応できる環境は利用者、家族が安心するところである。

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価/Aユニット (事業所記入欄)	自己評価/Bユニット (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り、事務室・フロアに掲示。職員会議やケース会議等でも理念に沿ったケアが提供できているか確認を行っている。	事業所独自の理念を作り、事務室・フロアに掲示。職員会議やケース会議等でも理念に沿ったケアが提供できているか確認を行っている。	利用者を尊重し、敬意をもって接することを特に重視しており、理念として掲げている。職員に毎日の関わりを問いかけ、日頃のケアを振り返る機会を持っている。ケアプラン作成時にも言葉かけや対応について落とし込み、実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時には、地域の方が声をかけて下さり顔なじみの関係ができています。また地区の行事参加し、交流ができています。	散歩時には、地域の方が声をかけて下さり顔なじみの関係ができています。また地区の行事参加し、交流ができています。	地域に開放されたホームを目指しており、地域の自治会に加入し、区長より広報誌を届けてもらっている。地域夏祭りに参加したり、清掃作業にも職員が参加している。ホームの敷地の畑を地域の方に貸し出し、収穫した野菜をいただくなど、日常的な付き合いができています。また近くに図書館や商店が立ち、利用することで馴染みの関係を築いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の場では認知症の方についての対応等相談がある。その他、地域の方から相談があれば支援の方法等アドバイスを行っている。	運営推進会議の場では認知症の方についての対応等相談がある。その他、地域の方から相談があれば支援の方法等アドバイスを行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度開催し施設の取り組み状況や活動を報告を行っている。事業所に対するご意見・ご要望があれば改善するよう努めている。	二ヶ月に一度開催し施設の取り組み状況や活動を報告を行っている。事業所に対するご意見・ご要望があれば改善するよう努めている。	会議は区長、各地区の民生委員、家族、行政関係者が参加し、定期的に開催している。ホームの現況報告が中心で、活発な意見をいただくまでに至ってないが、近隣の高齢者の現状を聞いたり、老人会で行われているアルミ缶回収の協力につながるなど、地域の情報を得ることができている。	

自己	外部	項目	自己評価/Aユニット (事業所記入欄)	自己評価/Bユニット (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域ケア会議やネットワーク会議へ積極的に参加を行い連携を取っており、良好な関係を保つようしている。	地域ケア会議やネットワーク会議へ積極的に参加を行い連携を取っており、良好な関係を保つようしている。	町が主催する地域ケア会議やケアマネジャーの参加によるネットワーク会議に出席することで、町の担当者や顔見知りになり、日頃から気軽に相談できる関係ができています。介護認定更新時や、入居についての相談もしています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会を通し、身体拘束を行わないケアの実践に取り組む。ただし、利用者様の生命に危険が生じる場合などは御家族様に説明し、同意を得て行う場合もある。	勉強会を通し、身体拘束を行わないケアの実践に取り組む。ただし、利用者様の生命に危険が生じる場合などは御家族様に説明し、同意を得て行う場合もある。	身体拘束廃止に関するマニュアル、指針を作成し、拘束のないケアを提供している。転倒防止のために、本人の状況をしっかりアセスメントし、気持ちを理解することで、見守りによる危険回避に努めている。言葉による拘束も、接遇研修を通じ指導している。外部研修に参加した職員が報告を兼ねホーム職員の周知を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を通して高齢者虐待防止について学び実施している。アンケートの実施やストレスマネジメントにも取り組んでいる。	勉強会を通して高齢者虐待防止について学び実施している。アンケートの実施やストレスマネジメントにも取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する知識を身に付け、必要に応じて制度を活用できる様支援を行っている。	権利擁護に関する知識を身に付け、必要に応じて制度を活用できる様支援を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時及び解約・改定等の際は説明を十分に行い理解が得られるよう努めている。	契約時及び解約・改定等の際は説明を十分に行い理解が得られるよう努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議では利用者様・御家族様の意見を聴取し、希望に添えるよう努めている。意見箱も設置している。	運営推進会議では利用者様・御家族様の意見を聴取し、希望に添えるよう努めている。意見箱も設置している。	家族の面会時は、本人の状況を伝え、希望を聞くなど意見が言いやすい関係となるよう努めている。希望があればすぐ対応している。ホームから行事の写真を送り、家族の参加を呼び掛けている。	

自己	外部	項目	自己評価/Aユニット (事業所記入欄)	自己評価/Bユニット (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度のカンファレンス時に意見や改善案を聞く機会を設け反映できる様努めている。	月に一度のカンファレンス時に意見や改善案を聞く機会を設け反映できる様努めている。	管理者と職員は互いに意見が言いやすい関係ができ、職員からの意見はすぐに対応したいと考えている。会議ではケア内容、業務見直し等活発な意見が出されている。資格取得についても配慮し、職員のやる気を育て、サービス向上につなげたいと思っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員に対して定期的な面談を行うと共に評価の実施をおこなう。働きやすい環境整備についても職員と協議しながら行っている。	職員に対して定期的な面談を行うと共に評価の実施をおこなう。働きやすい環境整備についても職員と協議しながら行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内部研修の開催及び外部研修の参加を促し向上心を持って働くことができる環境整備を行っている。	法人内部研修の開催及び外部研修の参加を促し向上心を持って働くことができる環境整備を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域で行われているネットワーク会議や介護保険課主催の勉強会に参加し、交流を深め事例検討会等を通して質の向上に努めている。	地域で行われているネットワーク会議や介護保険課主催の勉強会に参加し、交流を深め事例検討会等を通して質の向上に努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居希望者には、事前に施設を見学して頂き、支援が必要な場面や要望等について聴取し安心してサービスを利用していただけよう説明を行っている。	入居希望者には、事前に施設を見学して頂き、支援が必要な場面や要望等について聴取し安心してサービスを利用していただけよう説明を行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族には契約内容やサービス内容等説明を行い、不安・要望等が無いか確認を行い関係づくりに努めている。	御家族には契約内容やサービス内容等説明を行い、不安・要望等が無いか確認を行い関係づくりに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価/Aユニット (事業所記入欄)	自己評価/Bユニット (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ホーム内でサービスを完結させず必要であれば他サービスを利用しながら本人及び家族が必要とするサービスが提供できる様支援を行っている。	ホーム内でサービスを完結させず必要であれば他サービスを利用しながら本人及び家族が必要とするサービスが提供できる様支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お互いの関係を大切にし、職員も共に暮らす家庭的な環境を心がけている。	お互いの関係を大切にし、職員も共に暮らす家庭的な環境を心がけている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事や催し物を開き、御家族様を招待し交流を深め、情報交換を行っている。	行事や催し物を開き、御家族様を招待し交流を深め、情報交換を行っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や知人、近所の方も面会あり。希望があれば電話の支援も行っている。	友人や知人、近所の方も面会あり。希望があれば電話の支援も行っている。	地域からの利用者が多くなり、馴染みの友人や知人の面会が増えてきた。利用者の知り合いに踊りのボランティアで来てもらうなど気軽にホームを訪ねてもらっている。入居前の生活歴を把握し会話につなげたり、希望を聞きながら行きたいところへ同行するなど臨機応変にホームでできることを実施している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り利用者同士の関係性を強めていくことで利用者が孤立せず、安心した生活が送れるよう支援している。	職員が間に入り利用者同士の関係性を強めていくことで利用者が孤立せず、安心した生活が送れるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去や転居後でも必要に応じ相談に乗れるよう努め、利用者がより良い生活を送る事ができるよう支援を行っている。	退去や転居後でも必要に応じ相談に乗れるよう努め、利用者がより良い生活を送る事ができるよう支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価/Aユニット (事業所記入欄)	自己評価/Bユニット (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	3ヶ月に1回一人ひとりに希望を確認し、暮らしやすく希望に添った生活が送れるよう支援している。	3ヶ月に1回一人ひとりに希望を確認し、暮らしやすく希望に添った生活が送れるよう支援している。	午前、午後のお茶の時間には職員も一緒にお茶を飲みながら、ゆっくり本人の思いを聞いている。行きたいところ、食べたいもの等、把握したことはケース記録に記入し職員が共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様、御家族様の希望に出来るだけ沿ったサービスが提供出来るように努めている。	本人様、御家族様の希望に出来るだけ沿ったサービスが提供出来るように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの現状、状況を記録に残し、把握できるように努めている。	利用者一人ひとりの現状、状況を記録に残し、把握できるように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議では本人様、御家族様、職員が意見やアイデアを出し合い、よいケアが出来るよう努めている。	サービス担当者会議では本人様、御家族様、職員が意見やアイデアを出し合い、よいケアが出来るよう努めている。	担当者会議では、家族、ケアマネジャー、日常を良く知っている介護職員等を中心に会議を行っている。家族が出席できない時は、事前に希望やケアに対する意見の聴取をしている。ホームは自立支援に力を入れており、ケアプランに落とし込み、実践に繋げ記録も残している。定期的にモニタリング、評価がなされ現状に即した計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケアの中で、気付いた点などがあれば、個人記録に残し介護計画に活用している。	日々のケアの中で、気付いた点などがあれば、個人記録に残し介護計画に活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外部サービスの活用などより良い生活を送る事ができるよう既存のサービスに捉われないことなくサービスの多機能化に取り組んでいる。	外部サービスの活用などより良い生活を送る事ができるよう既存のサービスに捉われないことなくサービスの多機能化に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価/Aユニット (事業所記入欄)	自己評価/Bユニット (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	図書館やスーパーの利用等地域の資源を活用して暮らすことができるように支援している。	図書館やスーパーの利用等地域の資源を活用して暮らすことができるように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医がある場合は、出来る限り継続できるように支援している。協力医療機関との連携を求められる場合には適切な医療を受けていただくことができるよう支援している。	入居前からのかかりつけ医がある場合は、出来る限り継続できるように支援している。協力医療機関との連携を求められる場合には適切な医療を受けていただくことができるよう支援している。	入居時に本人や家族が希望された医療機関に受診できる事を説明している。母体の病院からは定期的な往診や、入院、緊急時の対応等もあり、入居後に変更される場合もある。受診時、家族の付き添いが無理な場合には職員が対応している。医療連携体制により、毎日訪問看護事業所からの来所があり、本人や家族はもとより職員の安心にもなっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	異常があればすぐに担当医師、訪問看護師に報告し、適切な受診や看護を受けられるよう努めている。	異常があればすぐに担当医師、訪問看護師に報告し、適切な受診や看護を受けられるよう努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関との情報交換を行い、状況を把握して。また、病院側からの相談を受けることもあり普段から関係づくりを行っている。	協力医療機関との情報交換を行い、状況を把握して。また、病院側からの相談を受けることもあり普段から関係づくりを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時本人様、御家族様の希望を聞き、主治医、訪問看護、職員が連携し本人が望む形での支援ができるよう努めている。	入居時本人様、御家族様の希望を聞き、主治医、訪問看護、職員が連携し本人が望む形での支援ができるよう努めている。	重度化や終末期における方針を作成し、体制を整えている。終末期になれば揺れる家族の思いに寄り添い、段階的に話し合い、医師からの説明を行っている。その中で、家族は望みをかけ入院加療を選択される方が多く、これまで看取り経験は2件である。終末期は24時間体制で医師の往診や訪問看護を受ける事が出来、家族や職員の安心となっている。看取り時には、全職員でターミナルケア勉強会を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価/Aユニット (事業所記入欄)	自己評価/Bユニット (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部研修会での訓練参加やマニュアル整備を行うことで事故発生時に実践できるよう努めている。	外部研修会での訓練参加やマニュアル整備を行うことで事故発生時に実践できるよう努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月の防火チェックや年2回の防火訓練を行い予防に努める。夜間想定訓練では地域住民の参加を依頼し開催している。	毎月の防火チェックや年2回の防火訓練を行い予防に努める。夜間想定訓練では地域住民の参加を依頼し開催している。	定期的に消防署の指導を受け、災害時の避難訓練を実施している。防災設備会社の立会いや、区長、民生委員の協力もお願いしている。回覧板にて地域住民への協力依頼をしたり、近隣の方へは直接依頼をして協力してもらった。地区消防団へ依頼はしているが、協力受けるまでには至っていない。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は丁寧な言葉かけを心掛け、カンファレンス等にて再確認を行っている。	職員は丁寧な言葉かけを心掛け、カンファレンス等にて再確認を行っている。	ホームが力を入れている点の一つに「人格の尊重」がある。内外の研修を受け、接遇面の向上を目指している。又会議や日常の関わりの中で、言葉づかいを指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃より利用者様の話を聞き、希望に沿えるよう心掛けている。	日頃より利用者様の話を聞き、希望に沿えるよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の体調に合わせ、本人の意見も聞き、生きがいのある楽しい1日を過ごして頂けるよう努めている。	利用者様の体調に合わせ、本人の意見も聞き、生きがいのある楽しい1日を過ごして頂けるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望に応じて訪問美容の方に来て頂き、カット・カラー・パーマをご利用いただける。	希望に応じて訪問美容の方に来て頂き、カット・カラー・パーマをご利用いただける。		

自己	外部	項目	自己評価/Aユニット (事業所記入欄)	自己評価/Bユニット (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前のエプロンなどの準備や下膳など、出来る範囲を一緒に行っている。一日のメニューをホワイトボードに記入し、その日の献立がわかるようにしている。	食事前のエプロンなどの準備や下膳など、出来る範囲を一緒に行っている。一日のメニューをホワイトボードに記入し、その日の献立がわかるようにしている。	毎日の食事は外部へ発注しているが、温かいものを温かくして提供するため、仕上げはホームで行われており、ご飯を炊いたり味噌汁はホームで料理している。料理に関わる機会を増やすため、おやつ作りを計画し、利用者と一緒に実施している。利用者の誕生日には希望に応じ外食に出掛けることもある。職員も一緒に食べることを基本としているが、介助や見守りの必要により食べられない場合も多い。利用者の嚥下、咀嚼能力に応じ、ソフト食、ゼリー食、ミキサー食、刻み食等栄養や安全に配慮して提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態にあった食事の形状にて提供できるよう支援している。栄養のバランスが把握できるようにしている。	一人ひとりの状態にあった食事の形状にて提供できるよう支援している。栄養のバランスが把握できるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後にその人にあった口腔ケアを行っている。必要時には訪問歯科の利用し、口腔内の確認を行っていただいている。	毎食後にその人にあった口腔ケアを行っている。必要時には訪問歯科の利用し、口腔内の確認を行っていただいている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄を記録し、日中はオムツを使用しない工夫を検討し、トイレにて排泄が行えるよう支援を行っている。	一人ひとりの排泄を記録し、日中はオムツを使用しない工夫を検討し、トイレにて排泄が行えるよう支援を行っている。	排泄チェック表により、個々のパターンを把握して、誘導することで自立支援につなげている。また夜間もポータブルトイレを使用し、紙パンツをせずに過ごしてもらおう取組をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者の排泄状況を記録し、出来るだけ薬に頼らず、水分補給や腹部マッサージ等行っている。	利用者の排泄状況を記録し、出来るだけ薬に頼らず、水分補給や腹部マッサージ等行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望する時間帯を把握して計画を立てる。体調をみて入浴日を変更したり、その人に応じた入浴の支援を行っている。	利用者の希望する時間帯を把握して計画を立てる。体調をみて入浴日を変更したり、その人に応じた入浴の支援を行っている。	入浴の基本は週2回以上としているが週4回の方もおられ、希望により臨機応変に対応している。巻き爪の方や血液循環の改善のために、足浴をして温めたる等個別に支援している。現在入浴を嫌がる方はいない。	

自己	外部	項目	自己評価/Aユニット (事業所記入欄)	自己評価/Bユニット (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の生活リズムを大事にし、安心して睡眠が取れるように支援している。	利用者の生活リズムを大事にし、安心して睡眠が取れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報等については事務所で管理し、職員が確認できる体制を整備している。症状の変化があれば担当医へ連絡し相談を行っている。	薬剤情報等については事務所で管理し、職員が確認できる体制を整備している。症状の変化があれば担当医へ連絡し相談を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの生活を継続できるようにその人にあつた支援を心がけ安心して過ごしていただけるよう努めている	今までの生活を継続できるようにその人にあつた支援を心がけ安心して過ごしていただけるよう努めている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近場の買い物や外出については希望に添つて支援を行っている。遠方への外出や地域活動等には家族や地域の方の協力をいただき実施している。	近場の買い物や外出については希望に添つて支援を行っている。遠方への外出や地域活動等には家族や地域の方の協力をいただき実施している。	ドライブは年間計画に揚げ、菖蒲園、花見、コスモス等季節に応じ出かけている。近隣にスーパーや商店があり、車椅子の方も、嗜好品や日用品等の買い物を希望されれば、職員が同行している。個別の美容院や法事などは家族の協力で外出されている。日常的な散歩で近所の方とあいさつを交わしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が出来る方は持たれている。外出の際には買い物等もされている。	自己管理が出来る方は持たれている。外出の際には買い物等もされている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望に応じて電話できるよう支援している。	希望に応じて電話できるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価/Aユニット (事業所記入欄)	自己評価/Bユニット (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様が季節をわかるように季節にあった飾り付けをしたり、花を生けたり、お香を炊いたり居心地よく過ごしていただけるよう支援している。	利用者様が季節をわかるように季節にあった飾り付けをしたり、花を生けたり、お香を炊いたり居心地よく過ごしていただけるよう支援している。	リビングは広く明るい。利用者と共に作成したお雛様の飾りつけがされるなど季節感を出すことを心がけている。キッチンの神棚や玄関の地蔵様が祭られており、心のよりどころとなっている利用者もおられる。また玄関にはお香を焚き、香りの配慮もされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個室、和室、フロアなど落ち着いて過ごせる場所が提供できる様環境整備に努めている。	個室、和室、フロアなど落ち着いて過ごせる場所が提供できる様環境整備に努めている。	/	/
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具などを持ってきていただき、利用者様にとって安心していただける環境を提供している。	使い慣れた家具などを持ってきていただき、利用者様にとって安心していただける環境を提供している。	居室には家族の写真や、利用者の自慢の作品を飾り、個性的で落ち着ける空間が窺える。掃除が行き届き、清潔感もある。位牌を持参している方はお茶を毎日そなえられている。テレビ、タンス等使い慣れた家具を持参されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの性格、特徴を活かし、自立した生活が送れるよう支援している。 使い慣れた家具などを持ってきていただき、利用者様にとって安心していただける環境を提供している。 一人ひとりの性格、特徴を活かし、自立した生活が送れるよう支援している。	一人ひとりの性格、特徴を活かし、自立した生活が送れるよう支援している。 使い慣れた家具などを持ってきていただき、利用者様にとって安心していただける環境を提供している。 一人ひとりの性格、特徴を活かし、自立した生活が送れるよう支援している。	/	/

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○		1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○		1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○		1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない